

---

# 基礎老化学会サーキュラー

# 第 123 号

日本基礎老化学会 Japan Society  
for Biomedical Gerontology

2024年7月12日 発行



---

先月、第47回日本基礎老化学会大会が、豊洲で開催されました。学会参加者197名、懇親会参加者108名と大盛会で、日韓合同シンポジウムや組織培養学会とのジョイントシンポジウムなどの企画もあり、活発な討論が交わされました。

さて、次は11月に東京で行われる日本基礎老化学会シンポジウムです。テーマは「多彩な研究資金が牽引する健康長寿への挑戦」と、こちらもとても魅力的なシンポジウムになりそうです。参加申込は近日中に始まる予定ですので、こちらにも是非ご参加ください。







これからも引き続き学会へのご支援をお願いするとともに、お気軽に学会改革へのご意見・ご要望を事務局にお寄せ下さい。

庶務理事 三浦 ゆり



---

## 【目次】

### 1. Topics

- ① 第47回 日本基礎老化学会大会が開催されました → 
- ② 日本基礎老化学会若手奨励賞を4名が受賞 → 
- ③ 第47回 大会学生奨励賞を3名が受賞 → 
- ④ 第45回 (2024年)日本基礎老化学会シンポジウムのお知らせ → 
- ⑤ 「基礎老化研究：タイムトンネル」の発信開始 → 
- ⑥ IAGG-AOR からののお知らせ → 

### 2. 議事録

- ① 2024年度 第1回 理事会 議事録 → 
- ② 2024年度 第1回 理事会メール会議 議事録 → 

### 3. 事務局からのお知らせ →

### 4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定 →

### 5. 会員動向 →

### 6. 賛助会員一覧 →

## 1. Topics

### ① 第 47 回 日本基礎老化学会大会が開催されました

第 47 回日本基礎老化学会大会（福井 浩二 大会長）が、6 月 15 日（土）、16 日（日）の 2 日間、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催されました。今年は老年学会合同会ではなく、基礎老化学会だけの単独会でしたが、学会には 197 名が、懇親会にも 108 名が参加し、大盛会になりました。日韓合同シンポジウムや日本組織培養学会とのジョイントシンポジウムも企画され、新しい視点で基礎老化研究を考えるよいチャンスになったと思います。

### ② 日本基礎老化学会若手奨励賞を 4 名が受賞

理事、評議員、大会関係者による投票の結果、第 47 回 日本基礎老化学会大会において以下の 4 名が若手奨励賞（40 歳未満）を受賞しました。

伊藤 尚基 （国立長寿医療研究センター）

金丸 佳織 （東京理科大学）

廣瀬 美嘉子（東京都健康長寿医療センター研究所）

福王 智康 （東京理科大学）

### ③ 学生奨励賞を 3 名が受賞

理事、評議員、大会関係者による投票の結果、第 47 回 日本基礎老化学会大会において以下の 3 名が学生奨励賞を受賞しました。

池垣 幸宏（神戸大学）

戸田 陸斗（東海大学）

森原 大智（東京都健康長寿医療センター研究所）

### ④ 第 45 回（2023 年）日本基礎老化学会シンポジウムが開催されます

2024 年 11 月 24 日（日）に早稲田大学国際会議場で第 45 回日本基礎老化学会シンポジウム（千葉 卓也 世話人）が開催されます。「多彩な研究資金が牽引する健康長寿への挑戦」をテーマに 7 名の先生にご講演いただく予定です。

### ⑤ 「基礎老化研究：タイムトンネル」の発信開始

広報・ホームページ委員会では、基礎老化学会の歴史を学会会員の皆様にもっと知って頂ければと思い、『基礎老化研究』誌、初期バックナンバーのタイトルを X（旧ツイッター）で、定期的にアナウンスすることになりました。

[目次に戻る](#)

X: [https://twitter.com/JSBMG\\_Rouka](https://twitter.com/JSBMG_Rouka)

ご登録がまだの方は、このチャンスに日本基礎老化学会 X をご登録下さい。  
第 1 回目のバックナンバーを掲載しましたので、是非ご覧下さい。

-----  
学会誌『基礎老化研究』🕒タイムトンネル 1 🕒

学会誌の原点ともいえる、1975 年開催のシンポジウム「老化の基礎的研究（第 1 回）」講演抄録集

4 つの研究テーマを中心に、老化研究の将来について活発な議論が交わされています!! ぜひご一読ください👁️

-----  
X でのいいね、リポストも大歓迎です。

## ⑥ IAGG-AOR からのお知らせ

基礎老化学会は、老年学会を通じて所属会員数に応じた membership fee を毎年 IAGG (International Association of Gerontology and Geriatrics) に支払います。そしてその一部は、皆さんが所属する IAGG Asia-Oceania Region (IAGG-AOR) の活動を支える原資です。

今回、IAGG-AOR の活動活性化のために、micro site (<https://iaggaor.com/>) が作られました。micro site には、IAGG-AOR newsletter に加え、

Webiner-”Biological Science of Ageing” by Drs. Chanhee Kang and Allen A.A. Hsu などが掲載されています。また、将来の IAGG や IAGG-AOR の meeting 開催地についての情報も掲載されています。

世界の 5 つの Region (Africa, Asia/Oceania, COMLAT [The **L**atin-America and Caribbean **C**ommittee of the IAGG], Europe, North America) を束ねる世界組織 IAGG のサイト (<https://iagg.site>) には、

IAGG の世界での活動、国連、WHO の老年学に関する動きなども掲載されています。国際共同研究などの Grant 申請時に役に立ちます。IAGG-AOR micro site とともにぜひ一度クリックしてみてください。ちなみに IAGG のロゴの桜の花びらに見えるのは世界の 5 つの Region を表し、その後ろの黄色の部分は世界地図です。



Founded 1950

IAGG Councilor (基礎老化学会理事) 遠藤昌吾

[目次に戻る](#)

## 議事録

### ① 2024 年度 第一回日本基礎老化学会 臨時理事会 議事録

日 時：2024 年 5 月 24 日（金）13：00-15：00

開 催：WEB 開催（ZOOM）

出 席 者：石神、内田、遠藤、柿澤、木村、清水、樋上（途中入室）、町田、三浦（以上理事）、嶋本監事、中川庶務理事補佐、福井第 47 回大会長（途中退室）、千葉第 45 回シンポ世話人、堀田第 48 回大会長、安田選挙管理委員長

欠 席 者：丸山理事（委任状提出）、大澤監事、津田会計理事補佐

定足数の確認（三浦庶務理事）：出席者 9 名、委任状提出 1 名で本会議は成立した。

理事長挨拶（石神理事長）：

理事長も 4 年目に入り、学会運営で改善できることはすべて実施した。他に改善すべき点があれば教えていただきたい。来月には大会が開催されるので対面での活発な議論を期待したい。

議 事：

#### 1. 報告事項

##### 1) 2022 年度第 2 回理事会議事録：三浦庶務理事

第 46 回（2023 年）大会と第 44 回（2023 年）シンポジウムの会計報告と監査が承認された。また、第 46 回シンポジウム世話人に木村先生が、第 49 回大会長に町田先生が決定した。

##### 2) 第 47 回（2024 年）大会準備状況：福井大会長

基礎老化研究大会号の印刷と発送が終わった。会場準備は順調に進んでいる。

Yu 先生の講演がキャンセルになった。要旨は大会号から削除することなくそのまま印刷した。

参加申込は現在のところ 100 名を越えている。事前参加締切直前に、もう一度参加申込を促す一斉メールを送る予定。

一予算的には大丈夫そうか（石神）。

➤ 赤字にはならず済みそう。

##### 3) 第 45 回（2024 年）シンポジウム準備状況：石神理事長

11 月 24 日（日）に早稲田大学国際会議場で開催される。シンポジストが決定した。

[目次に戻る](#)

懇親会も開催する予定。

4) 第 48 回 (2025 年) 大会準備状況：堀田大会長

老年学会のポスターとチラシが決まった。6 月 27 日—29 日が老年学会でそのうち、基礎老化学会は 28 日、29 日の 2 日間開催される。

—老年学会のシンポジウムなどは決まっているのか (石神)。

➤ 既に 6 回ほど委員会が開催され、シンポジウムは決まりつつある。

5) 第 46 回 (2025 年) シンポジウム準備状況：木村世話人

場所は愛媛県今治市の岡山理科大学で開催する。日程は土曜日を考えているが、学祭などの日程も考え、詳細は大学の事務方と相談して決める予定。テーマは

「ヒトと動物がともに安心して老いを迎える世界の創出へ (案)」。

シンポジストは旅費がかかることを考えて、外部から 2 名、岡山理科大から 2 名くらいの予定。

—シンポジウムの開催は 11 月と決まっているわけではない (石神)。

—シンポジウムには学会から 20 万円の補助が出る。それをシンポジストの旅費等に充てることは可能 (三浦)。

6) 第 49 回 (2026 年) 大会準備状況：町田大会長

2026 年 6 月 13 日—14 日を第 1 候補にしている。場所は順天堂大学さくらキャンパス。懇親会は 1 日目の夜に開催する予定。

—アスリートが多いので楽しみにしている (石神)。

➤ 学内のスポーツ施設を使った体験ができるような企画も考えている。

7) 編集委員会：木村編集委員長

スケジュール通りに進行している。

メッセージ性の強いミニレビューを 5 人の先生にお願いした。

8) 広報・ホームページ委員会：石神委員長

ホームページ、トップ画面のツイッター、青い鳥のロゴを X に変更した。

「能登半島地震へのお見舞い」を削除する予定。

バックナンバーのタイトルを会員向けに送る予定。

—斉メールの最後に、事務局アドレスだけでなく、学会 HP の URL や X の URL を追加する。“基礎老化研究”の公開を早めてはどうかという提案があった。

9) 学術交流委員会：柿澤委員長

林田先生が退任され、委員が 5 名になった。欠員補充の予定は無い。

6 月 15 日の第 47 回大会中に日韓シンポジウムが開催される。

10) あり方委員会：遠藤委員長

あり方委員会は開催していないので、報告はない。

[目次に戻る](#)

—何かあり方委員会で話し合っ欲しいことがあれば、遠藤先生にご連絡を（石神）。

11) IAGG-AOR について：遠藤担当理事

IAGG-AOR の WEB サイトを作った。ここから様々な情報が手に入るの、是非利用して欲しい。また日本で開催するシンポジウムなどをこのサイトに掲載して宣伝することもできる。海外から参加者を呼ぶことが可能になる。

12) 日本老年学会あり方委員会について：石神理事長

老年学会から老年精神学会が脱会し、老年薬学会が加入した。それに伴って理事の配分が変更になった。会員数からいうと、基礎老化学会の理事は将来的に 4 人になるかもしれない。

IAGG の Council Member について、老年精神学会と老年社会科学会の Council Member が退任した。後任を決めるにあたり、臨床分野 4 学会から 3 名、社会分野 2 学会から 1 名、基礎分野 1 学会から 1 名の Council Member を選出することになり、基礎老化学会からは必ず Council Member を出すことになった。また合同会について、各構成学会の費用負担を減らす方法について話し合われた。費用負担が高い場所や会場を避ける、もし赤字が出たときには老年学会が補填するなどの意見が出た。

13) “基礎老化研究”の郵送について：三浦庶務理事

クロネコ DM 便が廃止になり、クロネコゆうメールに変更になることで郵送費が以前よりも 2 倍近くかかることになった。また、海外発送(EMS)にも高額の郵送費がかかるため、2024 年（48 巻）1 号から海外に発送することはやめた。当該の正会員（在ドイツ）の了承は得ている。

## 2. 審議事項

1) 2023 年度会計報告：内田会計理事

2) 2023 年度会計監査報告：嶋本監事

—年会費の納入率はどのくらいなのか（石神）。

➤ 100%を越えているが、これは延べ人数のため過去の未納分の支払いも入っている。

—会議をオンラインでやっていることも支出を減らすのに貢献していると思う（石神）。

承認：9 名 不承認：0 名

2023 年度の学会会計と基金会計の会計報告と監査報告は承認された。

[目次に戻る](#)

3) 2024 年度予算審議：内田会計理事

承認：9名 不承認：0名

2024 年度の学会会計と基金会計の予算は承認された。

4) 業務委託の更新について：三浦庶務理事

今年 9 月から 1 年間、毎日学術フォーラムに業務委託する契約を更新するかどうか。

—毎日学術フォーラムの運用はいかがか（清水）。

➤ 契約以外の項目については別途料金がかかるので、予定外の出費がかかる場合も多い。

—毎日学術フォーラム以外のところを調べてもよいかもしれない（清水）。

承認：9名 不承認：0名

2024 年 9 月から 1 年間の毎日学術フォーラムの契約更新が承認された。

5) “基礎老化研究”のバックナンバー公開の時期を早めることについて：木村編集委員長

—公開時期を早めた場合に、許諾使用料が少なくなることはないのか（遠藤）。

—許諾使用料は年間 12 万円くらいの収入になっているが、利用された雑誌の発行年などの詳細はわからない（内田）。

—紙のコピーでも PDF のダウンロードでも利用する場合は許諾使用料がかかるので、公開時期を早めても収入には関係ないのではないか（清水）。

—初めは 1 年間で公開し、段階的にもう少し早めるのがよいのではないか（樋上）。

—2 年間の予定で執筆した著者には、公開を早める旨承諾を得るべき（丸山）。

公開を 1 年にすることを承認：9名 公開を半年にすることを承認：0名

バックナンバーの公開は 1 年にすることに決まった。

6) “基礎老化研究”の PDF 化について：木村編集委員長

PDF 化のメリット（木村）

① SDGs の促進に学会として貢献できる。

② PC 等に保存すれば、いつでもどこでも読むことが可能となる。

[目次に戻る](#)

- ③ 物理的空間を必要としない。
- ④ 最近の若者（20代以下）は紙媒体よりも電子ファイルを好むため、学生会員の勧誘時に有利に働く可能性が高い。
- ⑤ 他学会の学会誌もオンラインが増えている。

#### コロニー印刷と神谷印刷でのPDF版の見積（三浦）

- ① コロニー印刷ではPDF版のみよりも印刷した方が安い。
- ② 神谷印刷ではPDF版と校正で、予算に計上している22万円に収まる。
- ③ 神谷印刷で紙印刷版にした場合は、コロニー印刷よりもかなり高額になる。

—PDFのメリットは大きい。大会号を紙印刷にしたい場合、その時だけ会社を変更して印刷することは可能なのか（柿澤）。

▶ 印刷会社を変更することは可能（石神）

—これまでも一度PDFにしたことがあるが、紙の方がよいというクレームが来た経緯がある。年配の会員が冊子体を必要としているかどうか重要。紙の印刷が“基礎老化研究”の伝統でもある。学会員にアンケートで聞いてもよいのではないか（清水）。

—自分は紙の方がよいが時代の流れもあるので変更してもよいと思う（樋上）。

—自分も紙派であり、紙印刷の方が専門外の記事に目が留まる可能性が高いので、できれば両方でやっていただきたい（町田）。

—自分も紙派であるが、PDFにして様子を見てもよいと思う。また、学会員にアンケートをとる案には賛成（遠藤）。

—郵送に手間も費用もかかってくるので、PDFにして郵送にかかるお金を校正に当てるのはよいと思う（内田）。

—PDF化には賛成。PDF化で少し予算が余るようなら、その分を執筆者への謝礼に充てるのがよいと思う（丸山）。

—アンケートを取る案に賛成。紙で欲しい人だけに印刷すれば印刷部数が減るので、印刷代・郵送代も軽減できると思う（三浦）。

—紙版の“基礎老化研究”代を年会費に上乗せして徴収するのも一案ではないか（樋上）。

—編集（校正）作業については今年度から認めてもよいのではないか（石神）。

—予算に計上していないので来年度からでよいと思う（木村）。

—PDF化は賛成。大会号もPDF版のみでもよいと思う（堀田）。

—PDFがあれば、印刷はネットプリントのようなどころで格安で印刷できる（清水）。

[目次に戻る](#)



—神谷印刷以外に編集してくれる印刷屋があればご紹介いただきたい（三浦）。

本件は継続審議とし、会員にアンケートを取るようになった。

### 3. 次回理事会

PDF化に関するアンケートを取り、その結果を集計後、改めて臨時理事会を行う。

## ② 2024年度 第一回日本基礎老化学会理事会メール会議 議事録

日 時：2024年5月27日（月）～ 5月29日（水）

出席者：石神、内田、遠藤、柿澤、木村、清水、樋上、町田、丸山、三浦

老年学会の構成学会が変更になったため、日本基礎老化学会会則 第1章総則の第2条を変更する必要があります（添付ファイル）。会則の変更は、理事会、評議員会、総会で可決される必要がありますので、申し訳ございません。理事のみなさまには、本件「会則の変更」について、承認の諾否をご回答いただきたく、お願い申し上げます。

三浦ゆり

会則の変更を 承認する 10名  
承認しない 0名  
会則の一部変更は承認された。

## 2. 事務局からのお知らせ

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下の本会事務局へお願いします。本学会をより良いものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム（委託先）内

FAX: 03-6267-4555

[目次に戻る](#)

e-mail: secretariat@jsbmg.jp

### 【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会ホームページ <https://www.jsbmg.jp/contact/> の入会申込フォームに記入し、事務局に送信してください。正会員は入会申込と会費の入金確認、学生会員は入会申込と学生であることを証明する書類の確認をもって、申込受付完了となります。

学生であることを証明する書類は、学生証などの PDF ファイルでお願いします。

尚、初回の会費納入はクレジットカードをご利用できません。銀行振込のみになります。下記振込口座に、年会費をお振り込み下さい。

### 【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7,000 円（理事 15,000 円、評議員 10,000 円）、学生会員は無料（2021 年 4 月 1 日から）です。未納分は、会員マイページから確認できます。

※学生会員は毎年年度初めに、学生であることを証明する書類の提示が必要です。

#### 【オンライン決済の場合】

会員マイページにログインし、クレジットカード決済、コンビニ決済、銀行振込決済の中から決済方法をお選び下さい。

領収書のダウンロードもできます。

#### 【学会の口座に直接振込む場合】

学会口座に直接振込む場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください（secretariat@jsbmg.jp）。また、領収書が必要な場合も、その旨事務局にご連絡ください。

三菱 UFJ 銀行（銀行コード 0 0 0 5）

大山支店（支店番号 1 8 7）

普通 0 5 5 9 5 1 5

名前（口座使用者）：日本基礎老化学会

### 【基礎老化研究誌講読について】

学会年会費には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。ログイン PW は会員マイページ（学会バンク）の PW です。

### 【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

[目次に戻る](#)

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年5万円です。賛助会員には以下の特典があります。

(1) 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。

(2) 「基礎老化研究」に広告(A4半ページ)を年3回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

### 【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1ページ5万円で年3回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

### 【入退会、休会、会費等】 ([secretariat@jsbmg.jp](mailto:secretariat@jsbmg.jp))

入退会、休会、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局へ連絡をいただくと大変助かります。

### 【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- ✓ 退会の際は、日本基礎老化学会の会員マイページにログインいただき、【事務局へのお問合せ】の内容欄に、  
1.氏名、2.ご所属、3.連絡先(Eメール)、4.退会理由、をご記入の上、事務局にお送りください。
- ✓ 日本基礎老化学会の会計年度は4月1日～3月31日となっています。従いまして、退会時が年度の途中の場合でも、その年度の年会費はお支払いいただくこととなりますのでご了承ください。

### 【所属・連絡先等、登録内容の変更について】

所属、e-mailアドレス、住所など、登録内容を変更する場合は、会員マイページにログインし、ご自身で変更してください。よろしく願い申し上げます。

[目次に戻る](#)

### 3. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

#### \*\*\*大会\*\*\*

2025年

#### 第48回日本基礎老化学会大会（第34回日本老年学会総会7学会合同会）

大会長：堀田 晴美（東京都健康長寿医療センター研究所）

日時：2025年6月27日（金）から29日（日）

場所：幕張メッセ・東京ベイ幕張ホール

2026年

#### 第49回日本基礎老化学会大会

大会長：町田修一（順天堂大学）

日時：2026年6月の予定

場所：順天堂大学さくらキャンパス

#### \*\*\*シンポジウム\*\*\*

2024年

#### 第45回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：千葉 卓哉（早稲田大学）

日時：2024年11月24日（日）

場所：早稲田大学国際会議場（高田馬場キャンパス）

2025年

#### 第46回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：木村展之（岡山理科大学）

日時：2025年秋

場所：岡山理科大学（愛媛県今治市）

#### \*\*\*関連国際学会\*\*\*

2026年

#### The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date: July 5-9, 2026

Amsterdam, Netherland

<https://www.iagg2026.org>

目次に戻る

#### 4. 会員動向（2024年7月8日現在）

正会員：312名

学生会員：48名

名誉会員：20名

合計：380名

賛助会員：7団体

購読会員：5団体

## 5. 賛助会員一覧

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。

賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。

あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？

入会をお待ちしています！

ココロカ株式会社

小林製薬株式会社

大正製薬株式会社

東洋レヂン株式会社

日本水産株式会社

(株) ファンケル総合研究所

マルサンアイ株式会社



日本基礎老化学会サーキュラー 第 123 号

2024 年 7 月 12 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 三浦ゆり)

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム (委託先) 内

Web site: <https://www.jsbmg.jp/>

E-mail: [secretariat@jsbmg.jp](mailto:secretariat@jsbmg.jp)

[目次に戻る](#)